

項目	説明	
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	手術不能な骨軟部腫瘍に対する重粒子線治療
	研究目的	骨軟部悪性腫瘍の治療方法の第一選択は外科手術である。しかしながら、脊椎・傍脊椎領域・骨盤・後腹膜など体幹部から発生した腫瘍や進行腫瘍では切除が困難な場合も多い。 骨・軟部腫瘍の多くはいわゆる放射線抵抗性腫瘍であり、また体幹部では放射線耐容性の低い重要臓器の近傍に存在することが多いため、根治的に一般の放射線治療であるX線で根治を目指すことは困難である。 重粒子線はブラックピークにより、深部でエネルギーが高くなること、生物学的効果がX線に比べ高いことから切除困難な骨軟部腫瘍に対しても優れた治療効果が期待できることが報告されている。当院で重粒子線治療を施行した患者について過去に翻って検討を行う。
	研究対象者	当院で 2015 年から手術不能な骨軟部悪性腫瘍に対して重粒子線治療を施行された患者
	研究期間	西暦 2019 年 8 月 27 日 ~ 西暦 2030 年 3 月 1 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)	<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input checked="" type="checkbox"/> その他(重粒子線治療データ) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録 <input type="checkbox"/>	
試料・情報の 管理について の責任者	当センター 研究責任者	芹澤 慈子
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	放射線治療科 骨軟部腫瘍外科
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	なし